

伴奏法

[演習] 第2学年 前期 必修 2単位

《担当者名》近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

これまでの音楽療法関連科目で学んだ知識をもとに、音楽を療法的に用いるために必要な伴奏の知識と技能を習得する科目である。

【学修目標】

音楽療法を実施するために必要な伴奏の基礎知識と演奏技能を身につける。

1. 伴奏の役割や機能を理解する。
2. シンセサイザーの機能を理解し基本操作ができる。
3. コード譜を読み取り、曲想に適した伴奏ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・授業の進め方、授業概要、評価方法の説明	近藤里美
2 5 7	シンセサイザーの操作	・シンセサイザーの基礎知識の理解と操作の実際 ・シンセサイザーの音色選択と演奏技能の基本 ・演習と自主練習の反復学習	近藤里美
8 9 20	基本的な伴奏技法	・既成曲のダイアトニックコードの理解 ・ダイアトニックを中心とした基本的な伴奏技法 ・演習と自主練習の反復学習	近藤里美
21 22 29	応用的な伴奏技法	・曲想に適したコードやリズムの選択 ・伴奏の移調 ・演習と自主練習の反復学習	近藤里美
30	まとめ	・伴奏に必要な知識の確認と課題の整理	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

平常点 50%、授業内で行う技能達成確認テスト 30%、授業内容整理ファイリング20%

【教科書】

特に指定しない。必要な資料・楽譜は授業で配布する。

【参考書】

ともしび 「歌の世界111 伴奏譜集1」 ともしび音楽企画・株式会社ともしび
ともしび 「歌の世界111 伴奏譜集2」 ともしび音楽企画・株式会社ともしび
ともしび 「歌の世界111 伴奏譜集3」 ともしび音楽企画・株式会社ともしび

【備考】

学習形態は、個々の能力に沿った個人・小グループレッスンを基本とする。

【学修の準備】

- ・あらかじめ配布された資料・楽譜をもとに、十分な事前練習を行うこと。
- ・毎回の授業後には、各自の課題点を整理し十分に復習すること。
- ・事前学修・事後学修に各々80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関及び介護保険施設での実務経験を活かし、音楽療法に必要な伴奏法の技能演習を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している